

株式会社 関西宇部グループ社長メッセージ

健康経営のイベントを紹介します。9/5(土)第2回カラオケ大会を開催します。参加予定人数は25名と前回と同様ですが、今回は初参加として、関西宇部輸送から4名(上野さん、山口さん、大西さん、山出さん)、関西宇部から3名(宗平さん、長岡さん、甲斐さん)参加があり、大変嬉しく思います。イベントを工夫しつつ、様々な方が参加されること、健康経営活動を拡大したいと思っています。また、11/8広域協組ファミリーフェスティバルの中で、素人のど自慢大会的な催しが開催予定で、当社からは青山さんと長岡さんがペアで出場の手を挙げられました。当社のカラオケ大会でも、本番リハーサルとして美声を聞かせてくれる、と期待し応援します。

今回のトピックスは、広域協組内の工場で故障が発生し代納が認められず賠償問題が発生した案件です。セメント新聞(8/18)に斎藤全生連会長も同様の問題提起をされています。記事によると、関東地区や中国地区で納入中にプラントが故障し代納が認められずに数億円規模の損害賠償を求められたケースもあるとのこと。広域協組も全生連も対策として、プラントの故障が発生した場合は故障代納が出来るようにゼネコンとの契約時に明文化を求めています。

先週の役員会で、北岸顧問から発言があったように、JASS5規程が存在するものの、これは大変大事な問題提起であるとともに、最近では組合員工場の故障が多く、まずは自社工場の設備故障を極力なくす努力が必要です。これを受け、8/24大仲工務部長から注意喚起が発信されています。日頃より工務部はしっかりした強い安定操業意識を持っているとは承知していますが、実際に起こると大きなリスクが生じる可能性があるため、3工場とニシハリマ宇部・姫路UNCにおいては、協力会社を含めて全員への意識浸透・徹底を再度何卒宜しくお願いします。大仲部長からの注意喚起を一部抜粋しますと、日頃から設備の点検・整備を確実に実施し、自工場で安定供給を継続することを基本とする。安定供給を守ることは、工場・工務・技術・業務など全員の責任であるとの認識を持つ。

2026.9.2
代表取締役 太田正彦